



わくわくいっぱいのいきいき集会!

今日はいきいき集会でした。いきいき集会は、運営委員会や各委員会が計画・運営する、子供たちの自主的な活動です。今は、コロナ禍のため、放送室から全学級に配信しています。今日は、第一回ということで各委員会の紹介でした。

各委員長の発表を、教室で子供たちは真剣に聴いていました。また、発表後には、感想交流が行われ、発表を聞いた後に帯西レンジャーのどんな心が伸びたのかを発表した人に返していました。ある男の子は、「『帯西グリーン』の心が伸びました。それは、いろんな委員会があることを知ることができたからです。」と感想を述べていました。

集会の後には、運営委員会の反省会が行われていました。委員長からは「やはり、練習している人としていない人の差があります。練習していない人は、カメラから視線が泳いでいます。もっと練習しましょう。今日急に役割が変更になった人は、とても頑張ってくれました。」など、一つの会を運営するのにも、子供たちのひた向きの努力があっただと感しました。

子供たちがこれから生きていかなければならない社会は、変化が激しく、複雑な人間関係の中で新しい未知の課題に試行錯誤しながら対応することが求められます。このような社会をたくましく生きていかななくてはならない子供たちにとっては、社会での生き方などについて体験的に学ぶ場が必要になります。本校で取り組んでいる、このような集団活動や体験的な活動は、実際の社会で生きて働く社会性を身に付けていることを感じています。



各委員長の発表



教室の様子



感想を発表する子供



反省会の様子

帯山西小学校の強み!



今、本校では、スポーツテストに取り組んでいます。スポーツテストでは、様々な運動を行い、子供たちの体力を測っていきます。その中の一つにソフトボール投げがありますが、1m単位でラインを引かなくてはならず、体育主任泣かせの準備が必要となってきます。しかし、本校には教職員が自然と協力し合う土壌があります。今朝も職員がたくさん運動場に出てくれて、ソフトボール投げ用のライン引きをしていました。このような教職員集団が帯西の強みと言えます。これからも、教職員それぞれの個性を活かしながら学校目標達成に近づくために力を合わせていきます。